

朝鮮民主主義人民共和国

国防委員会 第一委員長 金 正 恩 閣下

抗 議

2月12日、わが国を含む関係各国が強く自制を求めてきたにもかかわらず、貴国が2009年5月に引き続く3回目の核実験を実施したとの報に接しました。

昨年貴国が強行した「人工衛星」と称するミサイル発射に対し、国際連合安全保障理事会は1月22日に、貴国を非難するとともにこれまでの制裁を拡充・強化する決議案を全会一致で採択し、更なる発射の禁止及び決議の遵守、並びにすべての核兵器・核計画の放棄を要求しました。

しかし、貴国は国際社会の強い制止を無視して、核実験という暴挙に出ました。これは世界の平和と安全を損なう重大な挑発行為であり、また、国際社会において貴国の信用をますます失墜させ、孤立化を深める自滅行為でもあります。

我が国における福島第一原子力発電所の事故によって、あらためて核の恐ろしさを痛感させられた私にとって、強い憤りを覚えるとともに、世界で唯一の被爆国の国民として、断じて許すことはできません。

1985年に「世界平和都市宣言」を行い、世界の恒久平和と核兵器の廃絶を希求する尼崎市民の代表として、ここに今回の貴国の実験に厳重に抗議するとともに、核兵器の開発の即時中止を、再度強く要請します。

2013年 2月 13日

日本国尼崎市長 稲 村 和 美

